

山形県立図書館 電子書籍サービス導入状況について

1 導入の目的

電子書籍サービスの導入により、県内各地域の住民に等しく場所や時間に拘束されない新たな読書環境を提供するとともに、文字拡大や文字反転さらに一部のものは音声読上げが可能であることから、障がいの有無に関わらず県民誰もが、読書による文字・活字文化の恩恵を享受できる読書のバリアフリー化を推進していく。

2 電子書籍サービス導入にあたっての条件

別紙「電子書籍サービス導入に必要な条件」のとおり

3 サービスの選定

契約者：株式会社紀伊国屋書店

4 主なサービス内容

- ① 当館図書館情報システムから電子書籍サービスにログインすることで、24時間 365 日いつでもどこでも電子書籍の閲覧が可能となる。
- ② 一部の本は、音声読み上げ機能の利用が可能となる（読書のバリアフリー化）。
- ③ 当館図書館情報システムと電子書籍システムを連携させることで、当館の既利用者は改めて登録を行う必要がないものとする。また、電子書籍サービスを利用するために新規利用登録する場合も、オンラインでの手続きを行うことで、来館することなく利用可能となる。

5 運用開始時期

令和 6 年 1 1 月中（予定）

6 電子書籍購入冊数（初年度）

令和 6 年度は、約 300 冊を購入予定（今年度は試行的導入）

（※財源：デジタル田園都市国家構想交付金（デジタル実装タイプ））

7 選書方針

◆「資料収集方針」IV 6 より抜粋

電子化されている内容に応じた種別毎の収集方針に従い、資料の電子化の進展状況や紙資料・電子資料それぞれの優位性等も考慮しながら収集する。

◆「資料選定要領」III 2（5）より抜粋

- ・ 県民の学習や課題解決、調査研究への有用性が高い資料を中心に選定する。
- ・ 電子書籍については、電子化による利便性の高まり（例えば、ページ数の多い紙資料の持ち運びや内容検索の負担軽減）や、音声読み上げ・表示の拡大反転等機能による読書バリアフリーへの寄与についても重視して選定する。また、発行形態が電子に限られるものや、郷土資料など貴重性、希少性の高いものは優先的に選定する。

- ① 電子化されている内容に応じた種別毎の収集方針に従い、資料の電子化の進展状況や紙資料・電子資料それぞれの優位性等も考慮しながら収集する（「資料収集方針」）。
- ② 県民の学習や課題解決、調査研究への有用性が高い資料を中心に選定する。
- ③ 電子化による利便性（例えば、ページ数の多い紙資料の持ち運びや内容検索の負担軽減や音声読み上げ・表示の拡大反転等機能による読書バリアフリーへの寄与等）についても重視して選定する。
- ④ 発行形態が電子に限られるものや、郷土資料など貴重性、希少性の高いものは優先的に選定する（②～④「資料選定要領」）。

以 上

【別紙】

電子書籍サービス導入に必要な条件

	条件の内容	考え方・根拠
1	【中心コンテンツの内容と充実度】 専門書、実用図書が充実していること	県民の暮らしや課題解決、調査研究を支援する専門書、実用書中心のサービスを実施したい。
2	【アクセシビリティの充実度】 幅広く多様な利用ができる読書バリアフリー機能が搭載されていること	障がいの有無に関わらず、県民誰もが読書による文字・活字文化の恩恵を享受できるよう音声読み上げ機能や表示の拡大反転機能など、不自由なく多様な読み方で利用できる機能が盛り込まれているサービスとしたい。
3	【図書館情報システムとの連携に伴う費用】 当館図書館情報システムの調整・改修、保守費用が発生しない (改修は図書館利用者ID、PWでログインできる機能の設定手続き)	図書館情報システムと連携することにより、県立図書館利用者は改めての登録申込や再度のログインをする必要がなくサービスを利用できるようにしたい。その際に必要となる、当図書館情報システムの調整・改修費用や導入後の保守費用(ともにシステム開発運用業者に支出)を不要としたい。
4	【サービス導入費、維持費】 サービス(プラットフォーム)導入費、導入後の維持費が不要	今後も限られた予算の中で継続的に運用していくためサービス提供者への支出である、導入費用と年間維持費を不要としたい。
5	【購入コンテンツの利用制限の有無】 購入コンテンツが買切型であること (有効期限や利用回数制限がないこと)	図書収集の観点から一度購入した書籍が時間の経過や利用回数制限により購入済みリストから消失しないよう、「買切型」のコンテンツとしたい。
6	【閲覧型サービスの場合の印刷やダウンロードの可否】 出版社の許諾の範囲内で、コンテンツの複写、印刷サービスを利用できること	閲覧型サービスの場合、貸出型に比べ一回当たりの利用可能時間が短い。そのため、参照箇所を記録保存したいというニーズが高くなると考えられるため、部分的であっても印刷やダウンロードできる機能を確保したい。
7	【都道府県立図書館での導入実績】 都道府県立図書館での導入実績があること	他都道府県立図書館での導入実績があるサービスを選択することにより選書の際に貸出実績を参考にし、よりニーズの高い書籍を選定したい。